

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 12 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			同時刻に指導員の数の受入なので時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設の構造上、手すりをつける等難しいため、できていません。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCA サイクルを実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社を集約しホームページにて公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、外部評価をしていません。今後必要に応じて検討していきます。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修・定例研修を実施しています。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート、NC プログラム、SDQ プロファイルでアセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員のアドバイスを得て支援プログラムを立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日関係なく 50 分療育、10 分振り返りの 1 時間の支援なので、大きく課題を変えることはありません。こどもの状況に応じて配慮する場合があります。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別療育であるが、集団につながるためのSSTなども実施、こどもの状況に応じて不定期に行っている小集団のSSTに参加してもらっています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングにて必要な連携の確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了前のミーティングでその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		こどものニーズに合わせて複数組み合わせ支援を行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		サービス担当者会議がなく、参加の機会がありません。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要なお子様が通所していませんが、必要なお子様が来られる際は、主治医と連携をしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて、今後、情報共有をする予定です。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて、今後、実施する予定です。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが家族支援プログラムとして明確には行っていません。今後勉強していきたいです。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			実施したことはあるが、広く周知されていないため、定期的に機会を作っていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応しています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		ホームページで、行事予定の報告をしています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかる書庫にて管理しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的ツール等活用しています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	ニーズがあれば、今後、教室解放の時間を設けていく予定です。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回程度で行っています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害に対する定期的な訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回以上研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			きりり広場で、食事があるときには、アレルギーの有無を確認しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例について自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成31年1月12日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

保護者等数（児童数）27 回収数 15 割合 55%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	4		個室での支援の要望があったが、教室の作りに関する面なので難しいです。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	5		保有している資格については教室内の掲示していきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	7	4	開きドアで、送迎時、混雑しているので、靴を履いて入って頂けるスペースを広げます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	14	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	13	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	ニーズに応じて、今後、交流を実施していく予定です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	4		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		5	10	要望があれば、検討をします。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	10		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	8	3	行事予定や長期休みの活動日追加など、ホームページで公表していますが、知らない方がいるので、周知をしていきます。
⑭	個人情報に十分注意しているか	14	1			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	3		マニュアルがあるので、周知し・説明をしています。毎月の訓練状況等を教室に掲示し、発信していきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	2	今後、訓練結果の掲示をして、発信していきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	1		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。